

都市再生整備計画 事後評価シート
湯河原駅地区

平成31年4月

神奈川県湯河原町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	湯河原町		地区名	湯河原駅周辺地区			面積	15.5ha	
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	485	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	地域生活基盤施設(駅ロータリー広場整備事業、駅周辺地区案内板整備事業)、高質空間形成施設(駅前広場上屋整備事業、駅前広場歩道整備事業)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(駅周辺地区土地利用変更作業業務委託、駅前広場手湯整備事業)								
			基幹事業	なし								
	新たに追加した事業		提案事業	なし								
			基幹事業	なし								
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅の利便性	人/年	2,213,000	H22	2,213,000	H29	2,201,000	△	あり ●	利便性の指標としている乗車人員数は目標値には至らなかったが、事業開始前は減少傾向にあった指標は上昇し、今後達成の見込みもあるため達成度は△とした。	
	指標2	観光客数の増加	人/年	4,441,000	H22	4,441,000	H29	3,309,000	×	あり ●	駅前広場及び一部周辺地区は整備され、事業完了前年の数値よりは上昇したが、観光拠点施設が少なく目標値に達しなかった。周辺の土地利用や街並み形成の進捗に併せた目標設定および評価が必要であると考えられる。	
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	平成23年4月に設立した民間主体の「駅前整備を推進する会」において、基本コンセプト、方針、施設機能などを検討。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									●
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

湯河原駅周辺地区(神奈川県湯河原町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 駅周辺のにぎわいの創出 目標1 温泉観光地にふさわしい湯けむりの感じられる空間の創出 目標2 新たな旅行形態の創出により産業観光を支援し、観光客の増加を目指す。	駅の利便性	単位:人/年	2,213,000	H22	2,213,000	H29	2,201,000	H29
	観光客数の増加	単位:人/年	4,441,000	H22	4,441,000	H29	3,309,000	H29
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



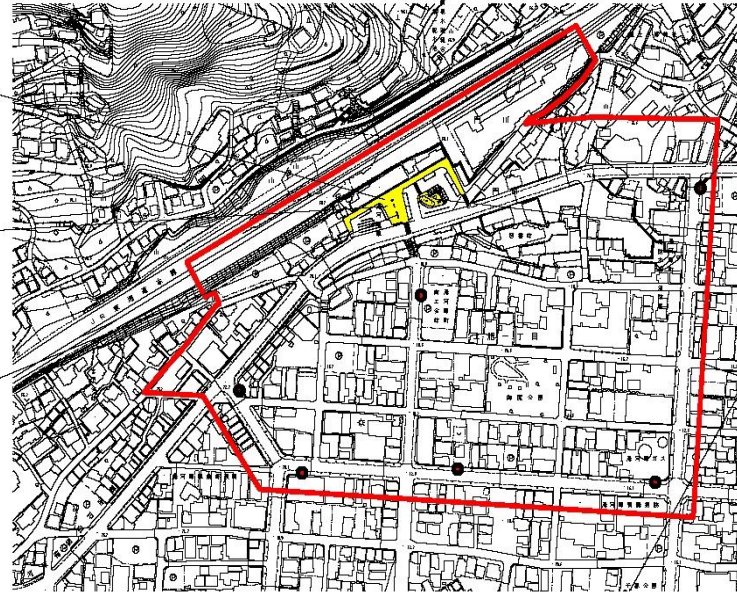
■高質空間形成施設
駅前広場上屋整備事業



■高質空間形成施設
駅前広場歩道整備事業



■地域創造支援事業
駅前広場手湯整備事業



■地域生活基盤施設
駅周辺地区案内板整備事業



■地域生活基盤施設
駅ロータリー広場整備事業



■地域創造支援事業
駅周辺地区土地利用変更

凡例	
	計画区域
	基幹事業
	提案事業

まちの課題の変化

・広場が整備されたことにより、湯河原町の玄関口としてふさわしい風情の感じられ、安全な歩行者空間の確保及び観光拠点の形成が図られた。
 ・広場としての利便性は向上し、広場の利用の動機付けは成功したが、周辺地区への誘導を図るような魅力のあるまちづくりや環境整備が課題となる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・本事業で整備した駅前広場を、さらに温泉観光地にふさわしい空間として利用するための施策を展開する。
 ・駅周辺地区のにぎわいの創出を推進するため、見せる工場等の誘致など、まちなかの魅力の向上を図る。